

**本会記事****第36回 プラズマ・核融合学会年会
シンポジウムおよび招待講演の募集**

第36回プラズマ・核融合学会年会は、2019年11月29日(金)–12月2日(月)中部大学春日井キャンパスで開催されます。一般講演については学会誌6月号で募集する予定ですが、これに先立ちまして、シンポジウムと招待講演を公募いたします。

昨年の年会から新たに領域制（基礎、応用、核融合プラズマ、核融合炉工学）が導入されましたので、シンポジウムや招待講演については、これらの領域からの企画分と一般公募分で構成します。さらに、テーマに沿った講演で構成するオーガナイズドセッションも企画いたします。応募内容を検討される際にご参考にいただけると幸いです。

領域で企画するシンポジウム・招待講演・およびオーガナイズドセッション**○シンポジウム**

「プラズマ理工学—タンパク質科学による未踏領域の開拓と基盤確立をめざして」 [応用]
「BA フェーズⅠの成果と BA フェーズⅡ計画」 [核融合プラズマ]

○招待講演

「観測とシミュレーションから探る太陽フレア黒点の形成過程」 鳥海 新（国立天文台）[基礎]
「動的モード分解の最近の発展と応用の広がり」 河原吉伸（阪大）[基礎]
「非中性プラズマにおける強い渦周囲でのホール形成メカニズムの理論／数値解析」 八柳祐一（静大）[基礎]
「強電界パルスの生体作用と医療・食品プロセスへの革新応用」 勝木 淳（熊大）[応用]
「先端微細加工技術におけるプラズマプロセスの動向と今後の展望」 本田昌伸（東京エレクトロン宮城）[応用]
「AM 変調放電による反応性プラズマ中のナノ粒子成長の制御」 鎌滝晋礼（九大）[応用]
「マイクロ波励起吹き出しプラズマによる高品質グラフェンの低温合成」 榎田 創，キム ジェホー（産総研）[応用]
「マルチフェーズプラズマ反応場を用いた革新的なプロセス応用」 寺嶋和夫（東大）[応用]
「データ同化シミュレーションによる物理予測の高度化」 上野玄太（統計数理研）[核融合プラズマ]
「圧力勾配駆動型周辺局在化モードの非線形シミュレーション研究の進展」 瀬戸春樹（量研）[核融合プラズマ]
「高専における放電プラズマの研究」 原田信弘（北九州高専）[核融合プラズマ]
「トーラスプラズマにおける過渡的電子熱輸送の実験的研究」 小林達哉（核融合研）[核融合プラズマ]
「対向爆縮コアの直接高速点火加熱効果の検証」 北川米喜（光産創大）[核融合プラズマ]

「ダイバータコンポーネントの高性能化へ向けた分散強化タングステンの開発」

能登裕之（核融合研）[核融合炉工学]

○オーガナイズドセッション：テーマに沿った一般講演で構成（招待講演を含む場合あり）]

- ・実験室プラズマ・天文プラズマ連携セッション—加熱・輸送・乱流現象を中心に [基礎]
- ・データ駆動プラズマ科学—インフォマティクスで発見を加速する [基礎]
- ・プラズマと生体の相互作用 [応用]
- ・プラズマプロセスの高精細制御 [応用]
- ・高専における放電プラズマ教育研究の広がりと展望 [応用・核融合プラズマ]

備考：各オーガナイズドセッションの趣旨はHPを参照ください。 http://www.jspf.or.jp/jspf_annual2019/organizedsession.html

1. シンポジウムの募集

年会のシンポジウムは、最近の話題に対し、異なる角度からの講演又は討論により今後の課題を抽出するために開くものです。そのため、目的、意義などを明確にし、最後に十分な質疑討論の時間を確保するように考慮して応募してください。分野に関しては、一般講演分野細目を参照ください。採否は、応募内容に基づき、学会年会運営委員会の審議により決定されます。なお、採択にあたって、プログラムの変更をお願いする場合があります。

- ・シンポジウムの時間枠は120分です。質疑討論時間が十分に取れるように配慮してください。
- ・採択されたシンポジウムの講演者へは、事務局から講演および予稿執筆の依頼状を発送します。予稿のページ数はA4で2ページ以内、締切は一般講演の予稿締切と同じく2019年11月15日(金) 昼12時です。
- ・ご提出いただいた予稿の著作権はプラズマ・核融合学会に帰属します
- ・発言言語：日本語、もしくは英語
- ・発表資料および講演予稿：日本語、もしくは英語

応募期限：2019年6月14日(金) 昼12時

応募方法：web ページから提案書書式をダウンロードい

ただき、記入の上、事務局へお送りください。

応募必要事項：

1. シンポジウムタイトル
2. 講演分野（一般講演分野細目から主分野 1 件、また必要であれば、さらに従分野（主分野に次いで関係の深い分野）を 1 件（合わせて 2 件まで））
3. 世話人 氏名・連絡先・会員番号
4. プログラム案（タイトルおよび講演者、仮で結構です）：「趣旨説明」と、「総合討論（最低 15 分）」の時間を必ず設けてください。
5. シンポジウムの要旨：A4 版 1 ページ（1200 字程度で、目的、意義、内容がわかるように簡潔にお書きください。また、キーワードを 3 つつけてください。）
6. 参加見込み人数（あらかじめ予想がつく場合は記入してください。）

2. 招待講演の募集

最近のトピックスや顕著な成果に関する招待講演を応募ください。

分野に関しては、以下に示す一般講演分野細目（を参照ください。応募書類のabstract欄には、達成された具体的研究成果を記述してください。また、可能な限り、推薦人 1 名と推薦文を提出してください。採否は、応募abstractに基づき、学会年会運営委員会で決定します。このとき、推薦文を参考にするとともに、推薦人に内容をお伺いすることもあります。

なお、採択された招待講演はプログラム委員会の判断でオーガナイズドセッションに位置付けられる場合があります。

- ・招待講演の採択は、講演に関連する内容を論文にまとめ、『Plasma and Fusion Research』またはプラズマ・核融合学会誌への投稿を条件としています。採択された招待講演の論文原稿提出期限は 12 月末とします。
- ・講演時間は発表 25 分＋質疑応答 5 分の計 30 分を予定しています。
- ・講演者へは、事務局から講演および予稿執筆の依頼状を発送します。予稿のページ数は A4 で 2 ページ以内、締切は一般講演の予稿締切と同じく 2019 年 11 月 15 日（金）昼 12 時です。
- ・ご提出いただいた予稿の著作権はプラズマ・核融合学会に帰属します。
- ・発言言語：日本語、もしくは英語

発表資料および講演予稿：日本語、もしくは英語

応募期限：2019 年 6 月 14 日（金）昼 12 時

応募方法：web ページから提案書書式をダウンロードいただき、記入の上、事務局へお送りください。

応募必要事項：（1-7 は必須、8 は任意）

1. 講演題目
2. 講演者（連名者を含む）
3. 所属
4. 会員のかたは会員番号
5. 講演分野（一般講演分野細目から主分野 1 件、また必要であれば、さらに従分野（主分野に次いで関係の深い分野）を 1 件（合わせて 2 件まで））

6. abstract：1200 字程度、キーワードを 3 つまでつける。
7. 連絡先（名前、住所、電話番号、Fax、E-mail アドレス）
8. 推薦者と推薦文

一般講演分野細目（記載例：主分野 A-5，従分野 B-1）

A. 基礎

1. プラズマ基礎・放電物理
2. スペースプラズマ（宇宙プラズマ・天文）
3. 高エネルギー密度科学・量子ビーム
4. 非平衡極限プラズマ
5. 波動・不安定性・流れ・加速
6. プラズマ計測
7. 原子分子過程・表面素過程
8. 非中性プラズマ・ダストプラズマ
9. プラズマ源・イオン源
10. データ駆動プラズマサイエンス
11. その他

B. 応用

1. 産業用のプラズマ源とモニタリング
2. 成膜・表面処理
3. エッチング
4. ナノテクノロジー
5. ライフサイエンス
6. 環境・エネルギー
7. 新応用・融合分野
8. その他

C. 核融合プラズマ

1. 平衡・安定性
2. 閉じ込め・輸送・乱流
3. 加熱・電流駆動・高エネルギー粒子物理
4. スクレイプオフ層・ダイバータ物理
5. 定常運転・制御
6. 計測・診断
7. 高ベータ・コンパクト系の物理
8. 慣性核融合・高エネルギー密度プラズマ
9. その他

D. 核融合炉工学

1. 炉設計
2. マグネット
3. ブランケット（ブランケット材料含む）
4. ダイバータ・プラズマ対向機器（ダイバータ材料含む）
5. 加熱・電流駆動システム
6. 核融合燃料システム
7. 核融合炉の安全性・保守性
8. 核融合炉の経済性・社会受容性
9. ニュートロニクスと中性子源
10. 計測・制御
11. その他